

2016



(2016. 1. 1 第125号)

関西青少年サナトリウム

# ひろば

敷居の低い 癒しの場としての病院をめざして



医療法人 社団 東峰会

関西青少年サナトリウム

〒651-2403

神戸市西区岩岡町西脇 838 番地

TEL 078-967-1202(代)

FAX 078-967-3626

HPアドレス <http://www.tohokai.jp/>E-アドレス [office@tohokai.jp](mailto:office@tohokai.jp)

広報誌へのご意見・ご希望を上記  
E-メール・FAX でお寄せ下さい。

## 明けましておめでとうございます

平素より格別のご厚情を賜り、誠に有難うございます。2016年の新年を迎えるに当たり、一言ご挨拶を申し上げます。



さて、本院の最近の取り組みについて幾つか紹介したいと思います。まず最初に、昨年2月より始めたm-ECT（修正型電気けいれん療法）ですが、明石医療センター麻酔科のご協力をいただき、着実に成果をあげています。8人の患者さんに延べ11件実施しており、その内退院が2人、改善が5人、中止が1人となっています。昨年8月には、県立淡路医療センターから紹介があり、転院の上実施しています。やはり、昏迷状態や緊張病状態の患者さんにはより効果的なようです。そして、クロザリルの使用についてですが、神戸大学のご指導とご協力の下、現在まで9人に投与しており、著効改善が3人、改善が6人でした。病的多飲水や激しい衝動行為が続く所謂難治性の患者さんの治療に、一つの希望をもたらしたと言えるでしょう。m-ECTやクロザリルの使用において、これからは他院の患者さんも積極的に引き受けて行く予定にしています。

次に、ここ数年来充実に務めてきた訪問看護ステーション「クローバー」ですが、垂水区から加古川（市名ではなく川の名としての）までの地域を網羅し、現在、登録利用者数230名あまり、月間訪問件数1200件前後となっています。本院以外からの依頼も多く、患者さんの地域生活を支える重要なインフラになりつつあります。

また2013年夏、明石駅近くに開設した就労支援施設「Small Steps」ですが、明石市社会福祉協議会や明石商工会議所、その他多くの会社や人々に助けられ、運営開始わずか2年で17名の就職を実現しています。これは、3割以上の施設が就職ゼロという状況の中で快挙と言えるでしょう。

最後に、昨年4月より本格的に稼働し始めた相談支援事業所「葉（しおり）」（西区）と「かなえ」（明石市）ですが、本院関係以外の相談も多く、地域の付託に応えんと懸命に努力しているところです。

このように本院は、入院治療から地域での様々な支援事業に至るまで、多くの分野で奮闘努力してまいりました。今後も、神戸市西区及び明石市を中心としたこの地において、地域包括ケアの重要な担い手であり続けたいと考えています。

さて、世界の政治・経済情勢は多極化と混迷の度合いを一層強めており、それに規定される形で、この国の医療・福祉も厳しい状況に追い込まれつつあります。しかし、幸いにも、本院は医師や看護師を筆頭に、若手からベテランに至るまで優秀な人材に恵まれています。創立以来本院の伝統である「イキイキ、ノビノビ、ワキアイアイ」の文化を大切にしつつ、より効率的に“協働”することによって、この難局を乗り越えて行きたいと思えます。

最後になりましたが、皆様の御健康と御多幸をお祈りしつつ、本年もご指導、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



2016年1月

関西青少年サナトリウム

院長 瀬川 義弘

# 第4回家族教室

H27.11.14 開催

11月14日(土) 13:00~15:00 今年度4回目の家族教室を開催しました。

今回は、司法書士として後見人を担っておられる北谷裕之先生、川村鉄平先生をお迎えして、成年後見制度の概要についてパンフレットを参照しながら説明して頂いた後、近年の法定後見の動向や後見人の横領等の事件の話があり、後半には具体的に事例を出して頂きました。例年通り、ご家族の関心も高く、熱心に耳を傾けておられました。また当事者の方も多数参加されていました。今回は、お二人の司法書士の先生が後半の茶話会にも、顔を出して下さることになっており、3グループそれぞれに入られました。やはり、ご家族からは具体的な親亡き後のことについての質問が出されました。



### ★次回の家族教室のご案内

テーマ：「当事者と家族の体験談、地域家族会の紹介」

講師： 兵庫県精神福祉家族会連合会（ひょうかれん）

豊永 恵 氏（家族相談員）

豊永 智史 氏

日時：H28.2.6(土) 13:00~15:00

場所：当院作業療法棟 1階

# 手洗い講習

H27.11.26 開催

病院感染対策における最も基本的な対策は、医療従事者による手洗いの慣行であり、ウイルスや細菌の付着しやすい手指を正しく洗うことは、最も有効な感染予防策です。手指衛生は、感染を防ぐ上で非常に重要であることは、世界的な常識になっています。医療従事者の手指は伝播媒体となります。ウイルスや細菌が付着した物を触る可能性の高いのは手指であり、ウイルスが付着した手指で目や口、鼻などを触る事によって感染します。また、咳やくしゃみ、鼻水などで汚染された手指や物、周囲環境の表面から手指を介して接触感染します。

正しい手洗いをマスターして感染を防ぎましょう。

## 正しい手洗い方法

 1 爪は短く切り、腕時計などの装身具はつけない	 2 手指全体を流水でぬらす	 3 液体石けんを適量手の平にとり出す	 4 手の平と手の平をすり合わせ、よく泡立てる
 5 手の甲をもう片方の手の平で揉み洗う(両手)	 6 指を組んで 両手の指の間を揉み洗う	 7 指先をもう片方の手の平で揉み洗う(両手)	 8 両指を曲げ 指の背と爪を手の平で揉み洗う(両手)
 9 親指をもう片方の手で包み揉み洗う(両手)	 10 両手首まで ていねいに揉み洗う	 11 流水でよく洗い流す	 12 ペーパータオルで ていねいに水気をふき取り完全に乾燥させる



手洗い前



手洗い後



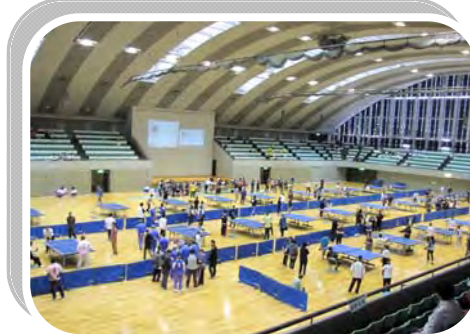
## 兵精協親善卓球大会

H27.10.30 開催

10月30日（金）に第33回兵精協親善卓球大会が姫路市中央体育館にて行われました。今年も入院患者様、デイケア通所者様の中から6名の方が選手として参加しました。

結果は男子個人戦は惜しくも1回戦にて敗退となりましたが、団体戦ではトーナメント制4試合を行い、熱戦の末3位入賞することができました。

選手の皆様のパワーと闘志にはスタッフ一同感動しました。ありがとうございました!!



## カフェデイケア

H27.11.12 開催

ポケット広場にてデイケアからは、ゆいグループ・たつきグループより出店し、スモールステップと合同で行いました。

ゆいグループは、“座布団・コケ玉・アクセサリー・バッグ、喫茶”、たつきグループは“フルーツポンチ”、スモールステップは自主製品を販売しました。

「目を引くディスプレイ方法って?」「お客さんに喜んでもらいたい!」と悩みながら当日を迎えました。販売時は、生き活きとした笑顔で積極的にお客様に声掛けをするメンバーさんの姿が印象的でした。沢山の方にお越しいただき、ほとんどの商品を完売することができました。



## 病棟クリスマス会

今年も各病棟で趣向をこらしたクリスマス会が開かれました。



## \*デイケアコーナー\*

2015年12月18日、22日 年忘れ会

みなさん昨年はどうな1年だったでしょうか？

楽しいこと、笑顔になったこと、苦しかったことなどそれぞれに思い出されるかと思います。そんな1年の頑張りをたたえるため、年忘れ会を行いました。

沢山のオードブルやお寿司、ケーキもテーブルに並び、お腹も心もいっぱいになりました。ピアノの個人演奏や連弾、合唱、ハンドベル、一発芸大会、ファッションショーでみんなの笑顔があふれ、とても楽しいひと時を過ごすことができました。

今年も、よりよい1年となりますように・・・。

昨年も1年お疲れ様でした！！2016年もどうぞよろしく願いいたします。



2016年（平成28年） 新年あけましておめでとうございます

突然ですが、皆さん、医療の考え方でSDMというのをご存知ですか？

私が昨年受けた研修の中で一番感銘を受けたのが、伊藤順一郎先生の「リハビリ志向の shared decision making (SDM) システム」でした。SDMとは、治療の内容を医師が決定するのではなく、医師と患者が情報や決定を共有して行うという考え方です。具体的に言うと、伊藤先生のクリニックでは、初めて入院する方にはピアスタッフも診察場面に同席し、病気を体験しているピアスタッフが本人の立場を守りながらどうするか決めていくそうです。私は、「医療の未来がこのような姿勢であれば素敵だな。」と思いました。

デイケアも、スタッフが決めて作る場所ではなく、利用者と一緒に作る場所です。楽しいことも、悩んでいることも、共有する。人生には解決できないことも多いけど、解決することよりも共有することを大切に、みなさんと一緒に歩いていく一年としたいです。今年もよろしく願いします。

デイケアセンター長 田村真実子

関連施設

### スモールステップ日記No.2

あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしく願いいたします。

年末にうれしいお知らせが2つありました。まず一つ目は、卒業し、働いているなゆたOBさんから「忘年会をするんです」というお知らせ。みんなで鍋パーティーをするのだとか。「僕は忘年会には都合が悪くて行けないんですけど、そしたら、〇〇さんは僕のために新年会を企画してくれるっていうんですよ。忙しいのにそんなこと言ってくれてすごうれしかったんですよ…」日々の仕事を頑張りつつ、プライベートも充実して、何と言ったらいいのか、健康的になったなあと私たちもすごうれしくなりました。

二つ目は、病院でスモールステップ通信を見た患者さんから「どんなところですか？」とお手紙をいただいたことです。今度見学に来てくれるそうです。ご連絡くださったことにも感動したのですが、その手段がお手紙だったことで二重にうれしくなりました。久しぶりにペンをとってお返事を書きました。



## 外来再診 担当医のご案内（1月）

診察時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前 9:15 ～12:00	狩場	鬼頭/西村	内藤	瀬川	佐伯/船山	当番医
午後 13:00 ～16:50	朴 内藤 <small>※児童・思春期外来</small>	山崎(敦)	村尾	瀬川 山崎(哲)	頼	/

☆火曜日、金曜日の午前は2診制になります。

☆初診の方は原則としてその日の初診担当 Dr が診療にあたります。（曜日により常勤医をふりわけています）

☆月曜日午後の診察（朴医師）、火曜日午後の診察（山崎(敦)医師）、木曜日午後の診察（山崎(哲)医師）は予約制です。

☆木曜日午後瀬川医師の診察は予約制（14:00～15:00）となります。※予約票が必要です。

☆※児童・思春期外来は毎週月曜日午後です。（担当：内藤医師、※完全予約制）

**編集後記：** 明けましておめでとうございます。今年は申年の中でも、丙申（ひのえさる）になるそうです。2016年の丙申は、大変革の年！？頑張りが必要になる年とも言われています。どのような1年になるか楽しみです。